

2017年度入社式 社長挨拶(要旨)について

山陽特殊製鋼株式会社(社長 樋口眞哉、本社 兵庫県姫路市)は、2017年4月3日に、本社講堂にて2017年度入社式を挙行いたしました。入社式における社長挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

『ご安全に!』 皆さんがこれまであまり聞きなれなかった挨拶をしましたが、製造業の現場では、何よりもこの「安全」と「健康」を第一に考えなければなりません。まずはこのことを頭に入れておいてください。

あらためて、山陽特殊製鋼を代表して、皆さんの新たな門出をお祝い申し上げます。

皆さんが入社された山陽特殊製鋼は、高度な品質が求められる軸受鋼の製造において世界最高水準の技術力を持ち、自動車分野をはじめとする需要業界から高い評価を得ています。去る3月24日には、当社は、“超高清浄度軸受鋼の高生産性プロセスの開発”というテーマで、「大河内記念生産賞」を受賞いたしました。この賞は、ものづくりに従事する者にとって、非常に名誉ある賞と位置づけられています。この優れた技術力を背景に、ここ数年で事業のグローバル化を大きく進展させてきました。また、収益性、財務体質いずれも優良かつ安定した水準にあり、私から言うのも何ですが、皆さんは非常に良い会社に入社されたと心から思います。

「良き会社員」たる前に、「良き社会人」に

本日当社に入社された皆さんには、「良き会社員」たる前に、「良き社会人」であって欲しいと考えております。

「良き社会人」には、“人としての礼節を忘れないこと”、“人を思いやり、理解すること”、“規律・ルールを守り、自分自身を律すること”の3つのことが必要です。社会人として、こういった「健全な精神」を持つ人間になっていただきたいと思います。

昨今、コンプライアンスに反した企業による不正・不祥事を伝えるニュースが後を絶ちません。会社は社会的な存在とも言われます。株主、取引先、地域社会など、ステークホルダーからの信頼なしに、企業は存続を許されないということを強く認識してください。

ルール・規律を守って常に安全な作業を

「安全は全てに優先する」ということも申しておきます。鉄鋼メーカーは高温のもの、高速で動くもの、重量物などを扱う職場が多く、危険がたくさんあるということを忘れてはなりません。“自分の身は自分で守る”ことが基本です。そのためには、ルール・規律を守り、自分自身を律することが極めて重要です。上司や先輩の指導のもと、常に安全な作業を心掛けてください。

当社の事業環境について

当社の事業環境については、主要需要先である自動車業界では海外関連需要が堅調に推移し、当社の生産・販売は高位をキープしています。一方、電気炉メーカーである当社にとって、生命線ともいえる電力単価は、国際的にも、また日本の他の地域と比較しても高い水準にあり、経営環境は厳しい状況にあることを認識しなければなりません。しかしながら、自動車需要はグローバルでは増加していくと考えていますので、こうした需要を確実に捕捉し、持続的成長を実現していくことが今後の重要な課題です。

当社では、3年ごとに中期経営計画を策定しており、今月から第10次の中期計画がスタートします。これまでの第9次中期計画では、素材材や金属粉末等の非鋼材事業の拡充を進めてきました。今後はその果実を刈り取っていく段階に入っていきますので、ともに頑張ってください。

仕事を通じて大きく成長し、当社発展の原動力に

本日、入社式を迎えられた新入社員の皆さんは、内からみなぎるエネルギーとやる気に満ち溢れた非常に良い表情をされています。どうか、今の心意気をいつまでも忘れず、苦しいときには本日の自分自身を思い出して頑張ってください。また、失敗は成長の糧ともいえます。上司・先輩のサポートを得ながら、積極的に何事にもチャレンジしてください。

会社の力とは、社員一人ひとりの力の結集に他なりません。新入社員の皆さんが、仕事を通じて大きく成長していくことが、会社の成長に直結します。皆さんが若い力をのびのびと発揮して、当社発展の原動力として活躍されることを心から祈念し、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

山陽特殊製鋼株式会社

代表取締役社長 樋口 眞哉